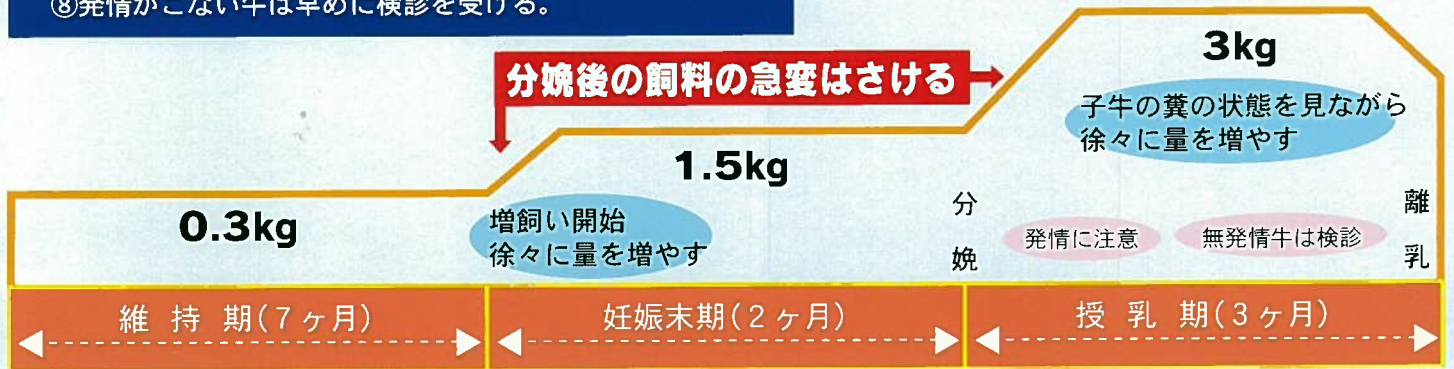


■繁殖牛の飼養管理マニュアル

●1年1産をするには

- ①発情を見逃さないために毎日除糞し、陰部を観察する。
- ②発情記録をつけて、適期授精を行う。
- ③運動・日光浴・削蹄の励行(分娩後1ヶ月以内に削蹄)
- ④妊娠末期と授乳中は飼料の増し飼いをを行う。
- ⑤ストレスの少ない快適な畜舎環境を作る。
- ⑥分娩前後にはビタミン剤やミネラル剤を補給する。
- ⑦肝てつや寄生虫の駆除を行う。
- ⑧発情がこない牛は早めに検診を受ける。

繁殖牛の増飼曲線



衛生対策

【予防接種】 異常産ワクチンや下剤予防のためのワクチン等の接種

【牛舎消毒】 ホワイトD(畜舎消毒用石灰) 消石灰
消毒薬(パコマ、ロンテクト、アンティークビルコンSなど)

上記資材を使った消毒の実施

【有害生物駆除】

ハエ・カ(ネグホン散、アルファクロンなど)
コクシジウム(ヤシマゾール、ゼクトン)
寄生虫(アイボメックトピカル、サイテク、チンブアオンなど)
肝てつ(ファシネックスなど)

ワクチン接種
(下痢対策・分娩1ヶ月)

寄生虫、コクシジウムの駆除
(分娩前2週間)

ビタミン剤: エデサン、ビタロング液
ミネラル剤: アルギフローラ、コロイカル、カルエースソフト

ビタミンやミネラルの補給を行う



生産者の方へ!
良質な繁殖牛の管理に
努めましょう!!

1日当たりの飼料給与例(母牛体重450kgで設計)

単位:kg

	とうもろこしサイレージ利用			刈干し(野乾草)利用		
	サイレージ	稲わら	濃厚飼料	野乾草	稲わら	濃厚飼料
維持期	10	3	0.3	6	1.5	0.3
妊娠末期	10	3	1.5	6	1.5	1.5
授乳期	10	3	3	6	2	3

	とうもろこしサイレージ・野乾草利用				イタリアン・野乾草利用			
	サイレージ	野乾草	稲わら	濃厚飼料	イタリアン草	野乾草	稲わら	濃厚飼料
維持期	7	3	2	0.3	2	3	2	0.3
妊娠末期	7	3	2	1.5	2	3	2	1.5
授乳期	8	3	2	3	3	3	2	3